

南窓

No. 61



南山_中高等 学校男子部生徒自治会

「南窓」六十一号 目次

高等学校の部

前期生徒自治会活動報告

生徒自治会 副会長	寺尾 太佑(高二A)	1
生徒自治会 書記	飯田 悠貴(高二D)	2
生徒自治会 書記兼会計	丹羽 孝太(高二C)	3
文化委員長	重本 佳穂(高二E)	4

後期生徒自治会活動報告

風紀厚生委員長	松原 彬(高二D)	5
文化委員長	重本 佳穂(高二E)	6
体育委員長	田口 楽士(高二A)	7

文化祭

2・1 文化祭実行委員長	松尾 賢(高一E)	8
文化祭実行副委員長	松木 陽平(高一B)	9

2・2 クラス企画 中2 A	小林 瞭太(中二A)	11
クラス企画 中2 D	横山 和樹(中二D)	12
クラス企画 中3 A	大川 夏瑞(中三A)	13
クラス企画 中3 B	中武 海童(中三B)	14
クラス企画 中3 C	山成 俊輔(中三C)	15
クラス企画 中3 E	久場 貴司(中三E)	16
クラス企画 高1 A	前田 琉翔(高一A)	17
クラス企画 高1 B	山田 敬都(高一B)	18
クラス企画 高1 E	安部 伶音(高一E)	19

2・3 文化祭有志演奏企画 Ox Tale	三浦 英太(高一D)	20
--------------------------	------------	----

中学校の部

前期生徒自治会活動報告

生徒自治会 会長	内ヶ島慶一(中二A)	21
生徒自治会 書記	川合虎太郎(中二A)	22
生徒自治会 書記兼会計	大西 康貴(中二A)	23
風紀厚生委員長	江場 光慶(中三B)	24
文化委員長	人見健太郎(中三D)	25
体育委員長	平本 光(中三A)	26

後期生徒自治会活動報告

生徒自治会 会長	大川 夏瑞(中三A)	27
生徒自治会 副会長	平野晃士朗(中三A)	28
生徒自治会 書記	竹内 悠(中三B)	30
生徒自治会 書記兼会計	江場 哲平(中三B)	31
文化委員長	人見健太郎(中三D)	32
体育委員長	平本 光(中三A)	33

中学文化委員会レポートアンケート

34

表紙

「それぞれの夕日」

小林 蒼生(高一C)

高等学校の部

前期生徒自治会活動報告

前期・後期生徒自治会副会長 高二A 寺尾 太佑

2022年度南山高等学校男子部で前期・後期を合わせた約1年間、生徒会副会長を務めさせていただいた寺尾太佑です。まずは、何も問題を起こすことなく、任期を全うすることが出来たことにとても喜びを感じています。僕は「より快適でより充実した学校生活」というスローガンをもとにこの1年間、主に3つの公約を成し遂げるために活動してきました。1つ目は購買の充実、2つ目は掃除機の設置、3つ目は暖房トイレの設置です。1つ目の購買の充実に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、撤去されていた電子レンジの再設置することが出来まし

た。2つ目の掃除機の設置については、一部の学年に

よる試験的な設置から初め、必要であれば各学年に1台設置して頂くことになりました。次代以降の生徒会には、僕たちの活動を踏み台にして頂き、最終的には全てのクラスに掃除機が設置されるようになることを願っています。残念ながら3つ目の暖房トイレの設置は時間と予算の関係で、実現することは出来ませんでした。在校生からの支持が高い要望の1つなので、こちらもぜひ次代以降の生徒会には頑張ってもらって頂きたいです。最後になりましたが、南山高校の更なる発展と南山学園に関わる皆様方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

生徒会での経験

前期・後期生徒自治会副会長 高二A 飯田 悠貴

皆さん、こんにちは。生徒自治会書記を務めさせていただいた飯田悠貴です。今年度の生徒会活動について報告しようと思います。

まず、今回の生徒会での活動を通して非常に痛感したことがあります。それは、実現させようと真剣に取り組み努力していれば、周りの人たちも同様に真剣に向き合ってくれるということです。

これは先生方に提出した要望書のうちの1つである「掃除機の設置」の時に強く感じたことです。この要望は当初、議員の間でも実現は難しいだろうという声もあったのですが、執行部のメンバーで試行錯誤を繰り返しながら、先生方に掃除機の必要性を丁寧に説明し設置を要望したところ、試験的ではありますが一部設置を許可していただくことができました。

このような難しいと思われる要望に対して話し合いを重ね、その結果、実現できた時の達成感自身が想像していたものよりも大きく、生徒会に入っていないならば経験することができなかったと思います。幸いにもメンバーに恵まれ、いろいろと助けてもらいながら様々な活動ができ、その活動を通して多くの経験を得ることができました。何度も助けてもらった執行部のメンバーを始め、高校生徒会顧問の伊藤先生、議員の方々、そして他にも生徒会に協力していただいた皆さんには感謝もしきれません。最後になりましたが、短い間本当にありがとうございました。

生徒自治会書記兼会計活動報告

前期・後期生徒自治会書記兼会計 高二C 丹羽 孝太

こんにちは。前期・後期の一年間生徒会の役員を務めさせていただいた丹羽孝太です。僕は人前に立つのが苦手で生徒会の活動に関わることはないと思っていたので、会長の城寶君と副会長の寺尾君に推薦責任者として選挙でのスピーチを頼まれたときは、驚きと「自分でできるのだろうか」と不安であるという気持ちがありました。結果無事に二人が当選でき、推薦者としてとてもほっとしました。

その後、生徒会に誘ってもらい今年一年書記兼会計として生徒会で活動しました。生徒会の活動では、僕は主にほかのメンバーと生徒会通信やアンケート、要望書などを作成して、それをパソコンに入力して見た目を整えることなどをしていました。

僕たちは選挙で公約にしていたものうち、「掃除機

の設置」と「電子レンジの再設置」の2つの公約を達成することができました。まず掃除機は当初の予定より設置する台数を減らすことになり、各学年に1台のみの設置になってしまったので、後輩には掃除機の台数を更に増やしてもらいより使いやすくする事を期待します。次に多くの生徒がアンケートで必要であるとは、答した電子レンジの再設置が実現可能となったことは、僕自身も待ち望んでいたのでも満足しています。

また、学校内での活動だけでなく学校外の活動にも生徒会として参加しました。例えば、栄での他校の高校生との交流会に参加して意見を交わし他校の生徒会が何をしているのかを学びました。普段あまり知らない他校の生徒会について知ることができた良い機会でした。

最後になりましたが、前期・後期生徒会を運営するにあたり、協力してくださった伊藤先生をはじめ、すべての方に感謝したいと思います。1年間とてもいい経験になりました。最後まで読んでいただきどうもありがとうございました。

前期文化委員会活動報告

前期文化委員長 高二E 重本 佳穂

こんにちは前期文化委員長を務めた重本佳穂です。
今日は文化委員が何をする場所で前期は何をしてい
たのかを書いていきます。

まず、文化委員とは生徒に向けたイベントを企画し、
開催する団体です。委員のみんななどどうしたらよいイ
ベントが開催できるのか、日々考えています。

次に前記の活動内容についてです。前期での主な
仕事は文化祭に文化委員から作品を出展することです。
文化祭の展示は自分たちの自由な表現ができる
イベントでも最大級のものなので、委員の皆から興味
や「好き」が魅力たっぷりの説明と共に紹介されて作
品のテーマ決めから議論は白熱しました。最終的に
内容は夏らしく、多くの興味深い話もある妖怪につい
て、と決まりました。実際に心霊スポットと呼ばれる

場所にも取材に行きました。持つて行った塩の効果
が出たのか、誰も大きな事故に遭わずに無事取材を終
えることができました。さて、例年の文化委員は一つ
部屋を借り、作ったレポート等を掲示するのですが、
動画での出展のほうが実際の様子などが伝わりやすい
と思います今回の文化委員では動画作品の作成をしまし
た。作った動画はユーチューブに投稿したので今回
の文化祭には来れなかった、という人達にも届けられ
たのではないかと思います。

文化委員として活動した日々は刺激的なものでし
た。委員の皆さんや先生、ここまで読んでくれたあな
た、ありがとうございます。

後期生徒自治会活動報告

後期生徒自治会
風紀厚生委員会委員長 高二D 松原 彬

後期風紀厚生委員会の半年間の活動は校内の清掃と普段の生活の乱れを正すためのポスター製作を行いました。(新型コロナウイルスの影響により例年の校外の掃除は校内の掃除に変更)

校内掃除では主に部室棟前と裏に注力しました。部室棟付近はゴミと私物が入り混じり散乱しやすいので、清掃員の方々や我々も手が付けづらく、ただ掃除するのではなく生徒自身にゴミなどをださない意識を強める必要があると思います。

ポスター製作では風紀委員各自が学校生活において改善すべきと思った点を考えてもらい作成したポスターを学校内各所に掲示しました。先代までの風紀厚生委員の方々の尽力もあり、校内の注意喚起の



ポスターもほとんどの場所で見られるようになり、これから更に生徒の意識の改善が進んでいくと思われまます。

後期生徒自治会
文化委員会委員長 高二E 重本 佳穂

後期文化委員長を務めた重本佳穂です。

さて、文化委員と言えばイベントを開催する団体なのですが、僕達はある考えに基づいて活動をしてきました。それは「楽しいイベントを考える側も楽しみながら仕事をする」という事です。イベントを企画する者が遊び心を持たずして楽しいイベントは開催できません。後期は議会の数が少なくハードな日程でしたが皆この心を忘れずに沢山の案を出してくれました。

次に、実際にした事について話します。後期では渡辺義和先生の講演会とアップルクラブ（イギリスのお菓子）作りを行いました。講演会では文化委員初となるZOOMを採用したオンライン開催で海外から講演をしていただきました。内容は非常に興味深く、質疑応答の時間が予定の4倍になるほどの盛り上がり

でした。調理実習では担当者の事前練習会の成果が出、参加者への素晴らしいフォローにより皆上手に完成し、至福の時間を共有しました。

様々な案から選び抜かれたこの企画達、予想以上の評価を受けることができました。共に仕事をしてください先生や文化委員の仲間達にこの場を借りて感謝を伝えます。

ここまで読んでくれてありがとうございます。

後期生徒自治会
体育委員会委員長 高二A 田口 楽士

まずは1年間無事体育委員長を成し遂げられてよかったです。体育委員としては2つの大きな役割がありました。体育祭とスポーツ大会です。体育祭は、色々な工夫をして他の体育委員とアイデアを出しながら競技を考えみんな平等に楽しめるように頑張りました。私自身が考案した、ガチンコリレーでは運動が得意な子が集まるようにクラス選抜という形をとり、従来のリレーよりかなりレベルが高い、面白く刺激的なリレーとなり非常に楽しかったです。また、運動が苦手な子も楽しめるような体育祭を目指していたので、障害物競走や綱引きなどを考案しました。障害物競走では、今までのアイデアから工夫をしてさらに面白くできたと実感しています。2年ぶりの体育祭として、気合いをいれて望めることができました。スポーツ大会では、学年末ということでみんなが一体となり、み

んなが楽しめました。今回は色々な部活の属している子が活躍できるように、バスケットボール、フットサル、ドッチボール、ソフトボールなど盛り沢山の競技を実施しました。また体育委員が自分達でルールや試合設定などを決めて自分たちなりに考えて行動することができました。体育祭やスポーツ大会を経て、スポーツをみんな楽しんでむこと、本気で競技に対して取り組むことは、普段コミュニケーションを取らない子と仲良くなる機会ができるチャンスであり、またすでに仲良い子達とも絆を深めることができました。また、体育祭やスポーツ大会携わってくださった先生方に感謝を伝えたいです。また、先輩達にも行事には本気で取り組み楽しんで欲しいと思いました。一年間ありがとうございました。

文化祭

まつお言行録

文化祭実行委員長 高一E 松尾 賢

皆さんこんにちは!!!今年度文化祭実行委員長をやらせてもらいました、松尾賢です!ここでこれを読んでる人に伝えたいことが3つあります。

まず一つ目はフレンズは絶対に大切にしてください。俺はマイフレンズのおかげで文化祭が成功したと言っても過言じゃないからね。バケモンみたいに美術のセンスがある奴やパソコンのバケモン、聞けば何でも即答かつ的確にアドバイスをくれる奴、パートリーダーたち、そして俺の相棒、松木。友達はワンピース。大切にしないと、助けてほしいときに助けてくれないし、とてつもなく心細い。そして自分もそういう風に扱われる。多分。てかさうなるぜ。マジで。

2つ目はやりたいことがあつたらすぐに動く。やる気は無限。でも時間は有限。やりたいことがあつたらとり

あえずフレンズに話そう!これはクッソ大事です。でも一定数批判してくるガキンチョは必ずいる。でもそれは無視しろ。否定を賛成に変えるのは時間の無駄じゃ。チャレンジに批判は付き物。そういうときは水の呼吸漆ノ型風をしよう!まともに受け取つたら術式展開破壊殺羅針に!表現がわかりづらいが、簡単に言えばありつたけの夢をーかき集めーようとしてる自分をキヤッこいと思おう!ということ。案外協力者出てくるぜ。そこには思わぬ出会いが!?

最後に一つバカッコいい言わせてください。自分はなぜこの学校来ているのかよく考えてくれ。アホみたいにゲームやったりスマホばかり見とつたら学校生活は何も面白くない。僕は中1の頃、この学校に自分の名を刻もうと思つてました。それから2年後に文化祭実行委員長になって通常の文化祭が3年ぶりに開催できた。この出来事に名を刻む事ができたのは俺と松木と実行委員会のメンバー。つまり唯一無二つちゅーわけ。だから、何でもいいから1発ばなす。自分にしかできないことがある。それを見つけてガチろうぜ!

文化祭ははしやぐもん！

文化祭副実行委員長 高一B 松木 陽平

文化祭副実行委員長の松木です。

伝えたいことは3つあります。

1つ目は目立ちすぎないということです。

僕は副実行委員長と言うクソ忙しい役職につきながらクラス展示の方の委員長を受け入れてしまいました。
した。

目立ちたがり屋の性格もあり名前のある役職が好き
でつい2つの重要な役をとってしまいました。

案の定実行委員会の方が忙しくクラスの方に全く行
けず他のクラスの子にクラス展示の委員長を変わって
もらいました。本当に申し訳ないなと今では思いま
す。また、野球部に所属していたので夏休みのあいだ
の期間も練習が勿論あるので夏休みのクラスの展示の
方にも顔を出せずに迷惑をかけました。もし運動部の

人でやりたいのなら相当な覚悟が必要だと思います。

2つ目は委員長の松尾と内容が被りますが、友達
(フレンズ)です。アイツらの活躍がなければここま
での成功には結びつかなかったと思います。芸術セン
スがえぐいやつ

パソコンがえぐいやつなどはやっぱ必要不可欠かな
と思います。勧誘して正解だったと思います。あと
は、割としっかりやってくれる仲いい子達をスカウト
することです。

あまりにもチャランポランだとダメなのである程度
しっかりやってくれる子なら大丈夫だと思います。

みんなで一致団結して委員長、副委員長を中心に大
成功へと導いてあげてください。

最後は何があっても士気を下げさせない明るさです。
案が通った時とか褒められたりした時に士気が上がる
のは当然ですが、叱られたり案を否決されたり良く
ない事が起こった時は俺らの場合委員長がテンパるつ
てよく凹むのでそういう時こそ委員長を支える副委員
長の出番です。とにかくもう起こってしまった事は

「しよーがない受け入れるしかない。こっからどんだけ盛り返せるかに力を入れていこー」などみんなを鼓舞して後は場を盛り上げるオモロいこと言えばみんな活気が戻ってくるので、常に明るく何事にも柔軟に対応する力が必要かなと思います。

俺らは久しぶりの対面の文化祭開催ということもあり先輩たちのノウハウを受け継ぐことが出来ずに一から始めるという過酷な条件だったので大変だったなと我ながら頑張ったと自負していますw

クラス企画

The Quiz ~behind closed doors~

中二A 小林 瞭太

僕たちJ2Aは、初めての本当の文化祭だ！↓来場者に参加してもらえるものがいい↓クイズ番組みたいなことをやりたい！といった感じで、廃墟の中の違法カジノ店!?をイメージしたカジノとクイズの融合コンテツをやることに決まった。夏休み中に買い出しや装飾の準備をすると同時に Teams でみんなにクイズ問題を募ったところ、300近くも集まりマニアックなものも多く、さすが個性的なメンバーが多いと先生たちから評判のJ2A!と嬉しくなった。文化祭の準備はギリギリまで終わらなかったが、個別作業が多かった昨年と違い、大人数で一緒に段ボールを

塗ったり貼ったりといった作業は楽しくて、完成した時の達成感は格別だった。コロナ禍ということで行列を避けるために完全予約制にしてしまった結果、クレームが来た事は誤算だったが、実際に来場者が来ると色々な事が起こると勉強になった。普段の学校生活では気づかないクラスメイトの色々な面が見えたり、あまり接点がないクラスメイトとも関わっていきつかけになったので、やっぱり行事って楽しい！大切だなあと感じた。いつもの確なアドバイスを下さった野末先生、ありがとうございます。

みんなで作った文化祭

中二D 横山 和樹

今年はクラスみんなにとって初めてとなる、学校に集まって開催された文化祭でした。

最初はクラスのテーマについてなかなか決まりませんでした。最終的に去年やったことのある人が多いというところでピタゴラスイッチをやることにしました。あまり連携が取れず何を作ればいいかすら分かりませんでした。そんな中でも夏休みの忙しい中何回も来てくれたクラスの仲間がいて、率先して買い出しに行ってくれたり様々なアイデアを出してくれたりしたことが、とても嬉しかったです。

9月になり、もう一度役割を決め直しました。すると一人一人が自分のやることを理解し、一週間近くで完成することができました。完成間近のある日の放課後に、担任の南條先生が見に来てくださり、「いい感じ

だね」と言ってくれたとき、僕たちもさらに頑張ろうと思えました。先生の一言には今でも感謝しています。そして、文化祭当日に間に合わせることができました。

全体を通して、うまく計画を立てられず完成が直前になってしまったことに責任を感じていますが、それでも9月にみんなで一致団結して追いつけることができましたのはいい経験だったと思います。そして何より、小さい子や保護者の人が挑戦して、ビー玉がゴールに辿り着いた時の嬉しそうな顔は忘れられません。拍手が起こる度に、頑張つてよかったなあと思えました。

今回の経験を活かし、次回の文化祭は、夏休み前からクラスで担当・計画をしつかり決めておき、一人一人が自分の仕事を理解して作業を進められるようにしたいと思います。そして、新しいクラスの仲間とも協力し、中学校最後の文化祭の締めくくりとして、たくさんのお客さんも自分たちも楽しめる行事になるように全力で取り組みます。

中学校初の文化祭

中三A 大川 夏瑞

コロナ禍で一年生の文化祭が中止となり、二年生は希望制のオンライン文化祭となり、一回も先輩たちの文化祭を見たことのない状態でのスタートとなった。僕たちの文化祭は、決してクオリティの高いものをつくれたとは癒えませんが、とても楽しむことができました。どのくらい準備に時間がかかるのか全く分からなかったので夏休みに少しだけ準備をしたところ、全く進んでいなくて、文化祭の一週間前になって焦ってやり始めました。買い出しでどれを買うのか選ぶところもなぜか楽しくて、制作中もなぜか楽しくて、誰かが失敗してしまっても笑いが絶えずなくて、とりあえず全てが楽しかったです。楽しかったのは良かったのですが、完成したものは酷く、他のクラスと比べて圧倒的にクオリティの低いもの

になってしまいました。どのくらい準備に時間がかかってしまうのか今回の文化祭でわかったので、来年はさらに計画的に準備をして、より楽しい文化祭にしたいと思いました。

初めての有観客文化祭

中三B 中武海童

今回の文化祭では、n o u n d l という体験型のアトラクションをやらしていただきました。僕らにとって初めての有観客文化祭となりましたが、とても楽しいものとなり満足しています。そもそもn o u n d l が何かというと、ストラックアウト、ボーリング、ダーツそして、射的を行い、その合計得点を競い合うというものです。最初クラスで話しあった時は、別々にそれらの競技を行う案だったのですが、それでは物足りないだろうということですのですべての競技を行うことにしたのです。得点制度を設けるつもりはなかったのですが、クラスメイトが、案を出してくれたおかげで結局採用することとなり、大成功となったわけです。そして、当日の運営も皆がそれぞれの役割を理解し、しっかりと仕事をこなすことが

できました。やはり、仲間あつての文化祭だったと思うし、仲間の大切さを感じられることができました。来年もお客さんに喜んでもらえる文化祭にしたいですね。

やつちやえ南山

中三C 山成 俊輔

一の文化祭では、今回得られた経験を活かしていきたいと思います。最後に、この文化祭で一生に残る、とても良い思い出を作ることができて本当に良かったですと思います。

昨年の文化祭はオンラインでの開催でしたが、今年やっと現地での開催をすることができました。3年生にとって初めての現地開催でしたので、慣れていないことも多く、全体的に苦労しました。私たちのクラスは「海外逃亡中」というものをしました。内容はクイズを解いて迷路を進み、海外へ逃亡するというものでした。準備の時では、クラスメイト達の予定がなかなか合わず、常に少人数での作業でした。ですから、作業が進まず、文化祭ギリギリまで作業をしました。また、使用する材料の数の見立てが甘く、作業をさらに遅らせてしまいました。文化祭当日では、多くの方に来場していただけました。しかし、私たちにとって初めてのクラス展示でしたので、少し雑な部分が出てしまいました。来年の高

一丸

中三E 久場 貴司

今年の文化祭で、J3Eはビタゴラ装置を製作した。当初、クラスはあまりまとまっているとは言えなかった。話し合いでも、話を聞いている人は半分程で、僕は「このままで大丈夫なのだろうか」と些か不安になった。そんなこんなでいつの間やら夏休みになってしまった。「ヤバいガチでどないしたらええねん」。僕はどうすればクラスが一丸にまとまるかで、頭がいつぱいだった。

しかし、夏休みになって暫くしてから、教室内に自分の班以外の装置が目立つようになった。皆、実はしっかり考えて、真摯に向き合っていたのだ。僕はその事に気づいた時、今まで気づいてあげられず仲間を勝手に過小評価してしまっていた事に対し、とても申し訳なく思った。ごめんなさい。

夏休み以降の追い上げは凄かった。普段、学校に来ない子も文化祭の為に来てくれて、まさにクラスは丸々となって製作し続けた。何回も装置を動かして試行錯誤しながら微調整をする子。何か装置以外にも見どころがあれば良いのではと「ぼてじん」を作る子。オンライン公開用の動画を撮り、ひたすら編集をする子等、全員が輝いていた。この姿を見せる事が文化祭の真骨頂なのではないかとひしひしと感じた。

残念ながら表彰はされなかったが、お客様の評判は良かったらしく、頑張った甲斐があったと思った。

「できんことは、次、できるようなれば、よか。そつでな。できんならできることば、探せばよかぞ」朝ドラで、ばんばが言った言葉だ。クラスでは、まさにこの言葉通りのことがなされていた。皆が、苦手なところはカバーしてもらいながら、自分にできることは何かないかと探し、それぞれの得意分野を活かして事に当たっていた。

皆が一つになっていた。

コーヒーカーップ

高一A 前田 琉翔

今年度の文化祭は、昨年や一昨年とは異なり通常開催となりました。その話を聞いた時には、嬉しさとともに正直不安もありました。僕たちが中学二年生の時に新型コロナウイルス感染症が流行したため、僕たち高一生にとって「初めて」のクラス企画だったためです。

様々な案（例：ジェットコースターを作りたい、中庭で液体窒素を爆発させたい等）をクラス内で募集し、投票によってコーヒーカーップを作ることが決定しました。その後、コーヒーカーップの設計図・デザイン、教室の内装と外装等についてクラスで意見を出しつつ、議員や有志の数名と担任の先生が昼放課を使って企画の具体案やスケジュールについて決めていきました。

夏休みに入り、コーヒーカーップに使う鉄パイプや木材をクラスに搬入し、内装として教室内に飾る富士山

の絵を描き始めました。しかしながら、夏休み中になかなか大きい作業ができる人数が集まらなかつたため、コーヒーカーップ本体に関しては木材を切るなど少しの作業しかできませんでした。正直この時は本当に完成するのかとても心配でした。

2学期に突入し、夏休み明けの考查を終えた直後から一気にスパートをかけていきました。途中、コーヒーカーップの座席部分の耐久性や軸の固定方法等考え直すべき点がいくつか露見し焦りましたが、下校時間ぎりぎりまでクラス総動員で作業し、なんとか開催前日ギリギリに完成しました、「温泉風コーヒーカーップ」が。

当日は役割を時間ごとで分担し、個々が宣伝・集客やクラス内の誘導など力を発揮した結果、総合と装飾において銅賞を獲得することができました。

困難があちらこちらに散らばっていてもヒヤヒヤした初めての文化祭でしたが、私個人としましては非常に楽しかったです。一人では短期間で成し得ないような企画をクラス一丸となり成功させたということ。皆にとつて貴重な体験になったと思います。

もう一つの選択肢

高一B 山田 敬都

皆さんは、何のために文化祭をやるのだろうか。ただ楽しいからなのだろうか。それとも何か賞を取りたいからなのだろうか。僕は自分が何のために文化祭をやるのがわからなかった。そのような中で僕の文化祭は始まった。

あれは、夏休みに入ってからのことだろうか。あまりやる気のなかった自分は、率先してというよりは、指示されたことをこなそうと思っていた。が、実際、準備初日となっても殆ど人が集まらず、進む気配がまるで無かった。そこで、僕は、自らが率先してやらねばと思うようになった。しかし、その志は良かったものの、その方向性が間違っていた。自分がやらなくてはと思うあまり、一人で計画などを立てたりして、周りから孤立していった。その結果、日に日にやらな

ければならないタスクが増え、一人ではとてもできないところまで来ていた。そこで、やっと人を頼る決断を下した。勿論、最初は自分の思い通りにならないことの方が多く、度々口喧嘩となった。しかし、その一方で、みんなが協力してやることで、一体感が生まれ、これぞ文化祭という感じで、どんどん楽しくなっていく。その後、みんなの文化祭に対する意欲が高まっていき、無事文化祭を終え、装飾部門で賞さえも取れ、とても充実した文化祭となった。

しかし、僕がここで伝えたいのは、何も文化祭が楽しかったという話ではなく、文化祭には楽しむ以外にも、他に得られるものがあるということだ。僕の場合、今回の文化祭を通して、自分で抱え込まず、時には人に頼る大切さを学んだ。きっと他の人にも学べるものがあるはずだと僕は思う。文化祭を楽しむもオッケー、楽しくやるのもオッケー、でもそれ以外のことを求める道もまた一つの選択肢なのではないだろうか。

ウマ息子の快進撃

高一E 安部 伶音

今年の文化祭も、新型コロナウイルスの影響が残り、先生方の努力もあり、規模縮小ではありますが無事開催していただきました。我々高一E組では、中庭を利用して「ウマ息子」を催しました。

構想は、6月ぐらいには既に固まっていた、夏休みに作業をする聞いていて、自分の持ち場の作業は終わらせました。しかし、他の班は進んですらおらず、夏休みが明けてすぐの9月頭に、進んでいないという事実を知った時、かなり焦ったことを覚えてます。ですが、指揮する人がいないなら自分がやるしかないと思い、私自身が指揮を取りました。その甲斐もあり、文化祭の2日前にはほぼ全ての用意が終わりまりました。

気になる結果は、総合優勝含む2冠を獲得することがで

きました！来年の文化祭では、今年の文化祭で得た反省点や経験を活かし、3冠を狙えるようなクラスになるような動きをしていきたいと思えます。

音楽がもたらす仲間との繋がり

O X t a l e 高一D 三浦 英太

僕たちはオンライン文化祭有志演奏企画で、「O X t a l e」というグループで出演しました。

メンバーは、ベースの岡田龍樹、ギターの久保田悠天、柴田航羽、キーボードの中村圭彦、そしてボーカルの僕です。

練習過程でドラムが抜けた影響もあり、演奏する曲は一曲のみになってしまいました。文化祭に向けて個々で練習を積み重ね、夏休みにはスタジオを借りて合同練習をしました。

前日のリハーサルで大きなミスはないと思いましたが、ライブ配信のオンライン文化祭では、自分の声域と楽器の音色のバランスに問題が発生し、自分たちのバンドの良さを最大限伝える事ができませんでした。

そして、迎えたコロナ禍初の観客を入れての文化祭

がスタート。バンドの良さを伝えられるのか不安に思ったが、バンドの仲間達が「英太なら大丈夫！精一杯文化祭の舞台を楽しもう！」と励ましてくれて不安を取り払ってくれました。

音域をライブ配信の時よりも1オクターブ上げたり、ギターにハモリもやってもらったりなど、工夫した結果、たくさんの人から「ライブ良かったよ！」と声をかけてもらいました。

音楽は、生活の中で、無くてもよい物にもみえませんが、音楽の持つ力は想像を越えるものがあります。

時には人を慰めたり、勇気づけたりします。バロック時代から近現代に至るまで、時代や国を越えて、人、仲間と繋がる事ができます。

バンドを通して、あらためて、音楽は人を繋いで人を豊かにしてくれるのだと感じました。

文化祭のバンドの仲間、そして僕が所属しているブルースバンド部の仲間、僕は、音楽を通して多くを学んでいます。この繋がりを大切に、これからの人生に、音楽で彩りを添えていきたいです。

中学校の部

前期生徒自治会活動報告

生徒会会長を経験して

前期中学生徒自治会会長 中二A 内ヶ島慶一

2022年度、前期生徒会会長を務めさせていただきました内ヶ島慶一です。僕は生徒会長をやるうか悩んだ時クラスメイトが「やれよ」「やれよ」と言ってくれたのがきっかけでした。

僕は当選した時に学年全員が喜び合ったのを覚えていますですが僕は生徒会長の重みをすごく感じました。僕は購買に行くと行列がすごく、どうやったら解決するだろうかとやはりお金を払いときが一番時間がかかると思いました。ICカードだと早く済むとこの行列もなくなると思いましたが先生方にチャージャー

ジの時にどうするの?と言われて時間がなくて出来ませんでした。

他の活動としてウクライナ人道危機救助金の募金は想像の遥か上を超えてくる募金量でした皆さんのご協力ありがとうございます。2022年度前期生徒会が終わって皆さんにお願いしたいことがあります。学校を変えるには僕を含む生徒の信頼関係あってそのものです生徒の行動によっては実現できた公約ができなくなってしまうことがなりかねませんお願いですから心の片隅にとどめて楽しい楽しい学校生活を送ってください

最後ですがこの半年で自分の未熟さや責任を負うことの大切さに気づくことが出来ました。これからの学校生活がより良くなるように一生徒として全力を尽くしたいと思います。本当にありがとうございます。

生徒会書記黙示録

中学生徒自治会執行部書記 中二A 川合 虎太郎

どうも皆さんこんにちは。前期生徒会書記を務めさせて頂きました、川合虎太郎と申します。

私は前期生徒会長の内ヶ島慶一君の元で書記を務めました、その任期であった約半年間はとても濃密で私の中で大きな経験となったと胸を張って言うことが出来ます。元々私は友人である内ヶ島君に生徒会立候補の推薦代表者をしてもらうようお願いされそれを受け入れました。すると、彼らは唯一の中学二年生の立候補者でありましたが、見事当選を果たしました。そこで内ヶ島君に薦められ僕は書記の役職に就きました。そして会計の大西君、副会長の古田君と共により良い南山に向け、募金活動などの様々な議題に真摯に取り組みました。また、高校生徒自治会の先輩方にな様々なアドバイスを頂き、書類の作成等に置いては感

謝が尽きません。

私はあまり人々の代表やリーダー的存在になることは少ないですし、これまでの人生でもそのようなことはやったことはありませんでした。しかし内ヶ島君に勧められ私は生徒会書記に就き、この貴重な経験を通して、人々の代表であることとはどのようなことか、また友達と協力することの重要さ。学ぶことが出来ました。同じ生徒会の皆様、及び生徒会を支えて頂いた皆様、貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。

生徒会執行部として 見てきたもの

前期生徒会執行部書記兼会計 中二A 大西 康貴

皆さんは生徒会についてどれくらい知っていますか。僕はこれまで生徒会についてあまり知りませんでした。しかし、執行部として生徒会に関わるようになってから生徒会がどんなことをしているのかわかるようになっていきました。そこで、皆さんにも生徒会についてもっと伝えられたらいいなと思います。

僕は執行部として生徒会長や副会長たちが公約実現のために日々頑張っているのを見してきました。そこで、の会長や副会長たちは、「もっとこうしたらより良い学校になるんじゃないか」「ここはもっとこうしよう」等といったことを目を輝かせながら話し合っていてとてもかっこよかったです。また、自分が執行部となることで初めて今までの執行部や会長たちの姿を再確認

しました。

最後に、前期だけの活動期間ではありましたが、この生徒会の活動を通じて沢山のことを学ぶことができました。これまで一緒に生徒会に携わってきた方々には感謝しかありません。本当にありがとうございます。

制限された状態での 風紀厚生委員会の活動

前期風紀厚生委員会委員長 中三B 江場 光慶

こんにちは、前期風紀厚生委員長を務めた江場光慶です。

3年ほど前からコロナ禍の影響でそれまでできたことができないという制限された状態で学校生活を送らなければなりませんでした。そんな中で学校生活のためにやりたいことを意見を出し合って活動しました。

一つ目は、校門での手洗いの呼びかけです。前期の活動だったので学校に入って来たばかりの一年生に手洗いの習慣をつけてもらうために行いました。

二つ目は、快適な学校生活を送るための様々な案を
実現しようとしたことです。

まずは、グラウンドのウォータークーラーの設置についてです。夏は暑くなるので中庭のようにウォー

タークーラーがあると熱中症対策として生徒だけでなく先生方にも必要だと思い資料を提出しました。ですが費用などの問題で実現出来ませんでした。

他には、パンの自動販売機がありお腹が空いたらいつでも買えるので便利だが甘いパンが多く惣菜パンのようなものが全くないので欲しいという意見がありました。保存期間の問題がありこれも実現出来ませんでした。

僕は、このように風紀厚生生の厚生についてが活動しましたが実現できなかったので何かを変えようとするのは簡単なことではないと実感しました。そして、委員長を務めて自分の統率力の無さを実感しました。委員長を務めるまで人をまとめることがこんなに難しいことだと思っていなかったため、この体験を活かしていきたいと思いました。

指導してくださった中谷先生、一緒に活動した委員の皆さん、半年間ありがとうございました。

中学文化委員会活動報告

前期中学文化委員長 中三D 人見 健太郎

前期文化委員会では、文化祭に来場された方へのパンフレットを作成しました。来場して下さった家族や友達など、多くの人に見てもらうことができました。このパンフレットには、より多くの人々に南山の魅力を知ってもらうという目的がありました。

パンフレットの内容は中学三年間での行事で行った事やその感想、南山の教室や施設を紹介するというもので、委員会に所属している生徒全員がそれぞれの役割を持って原稿を作成しました。生徒一人一人の思い出や感情が詰まった素晴らしいものになりました。一生懸命作成したもので、見て下さった人々に僕たちの想いが伝わっていると嬉しいです。

また、このパンフレット制作で、僕たち自身も南山の魅力を改めて感じる事ができました。分かりや

すい授業をして下さる先生方、仲の良いたくさんの友達がいってこそその南山だと思うので、残りの南山生活をより楽しみ、有意義なものにできるようにしたいと思います。

中学校最初で最後の体育祭

前期中学体育委員長 中三A 平本 光

こんにちは。前期体育委員長を務めました平本光です。

昨年度はコロナの影響で体育祭が開催できませんでした。ですが、今年はコロナの生活に少し慣れたのかわかりませんが、体育祭を開催することができました。中学校での初めての体育祭であったので右も左もわからない状態で体育祭の準備をしていたのでとても大変でした。

その中でも特に大変だったのが種目決めです。体育委員全員が初めての体育祭であり、そしてコロナ禍でもあったので、できる種目も限られる中中学生が最大限楽しめる種目は何かと議論して決めるのが大変でした。しかし、体育委員会でのみんなの意見を出して話し合っているときは体育委員としてのやり

甲斐をとっても感じました。

最後になりますが体育委員の南條先生、そして何より一緒に体育委員として活動してくれた中学生のみんなさん本当にありがとうございます。

後期生徒自治会活動報告

生徒会長をやってみて

後期生徒自治会生徒会長 中三A 大川 夏瑞

この度後期生徒会長をやらせていただきました大川夏瑞です。小学校のときに学年で6人しか選ばれない代表委員をやったのですが、その時と違い、全て自分でやるということ知らなくて、生徒会の仕事を軽く見てしまっていました。自分のやらなければいけないことと生徒会の仕事を両立されるのが難しく、実際にはほとんどやり切ることができませんでした。また、ツイッターで叩かれたりしましたが、特に他人からみてはそのくらい生徒会活動がたくさんできました。ですが、電子レンジを再設置する案が通ったので良かったです。要望書を提出した時は執行部と

校長先生、副校長先生たちと校長室で話し合いをしたのですが、ここで先生たちが納得する話をすれば案が通ると思います、とても緊張してしまいました。ですが、その要望書の作成時に執行部のみんなと一緒に議論しながら完成させたことはとても楽しかったです。この失敗してしまった経験を活かし、次に生徒会長に立候補するときは、できる範囲の公約にし、要望書をたくさん提出して、もっと過ごしやすい南山男子に必ず変えてみせます。

後期生徒自治会副会長 中三A 平野 晃士朗

1. 要望書

私たちの生徒会は後期の間に、2つの要望書を提出しました。

1つ目は、グラウンドに設置されている砂落としマットの交換についてです。現在、下駄箱には大量の砂が落ちている状況になっており、先生方が掃除をしてくださっているのですが、先生方の負担を減らし、本校の衛生のためにも新しい砂落としマットに変えようと思いました。そして先生方に相談してみたところ、グラウンド前にある砂落としマットが正しい使い方をしていなかったり、下駄箱前にあるマットは生徒が使っていないというような問題がありました。グラウンドの砂を落とすためには、砂落としマットに水をためて、砂に水を含ませて落とすという方法があるのですが、ここ数年の間、水が溜まっておらず砂が落ち

かったということだったので。そこで生徒会は、グラウンド前のマットに水をため、下駄箱前のマットを生徒に使用してもらえるように声掛けをするべきだと思いました。

2つ目は、電子レンジの再設置についてです。新型コロナウイルスが流行る前までは、購買のお弁当をおいしく食べられるように電子レンジが設置されていたのですが、電子レンジを使うためにたくさんの人が列に並び、密になってしまったため使用禁止にいたのです。しかし、5月8日から新型コロナウイルスの感染状況の位置づけが入院勧告や外出自粛の要請を行える2類から季節性インフルエンザと同じ5類に下げられるため、コロナ前の生活に戻ることができると考えました。また、生徒からのアンケートの結果からも多くの生徒が電子レンジの再設置を求めていることがわかりました。それによって人気商品だったレトルトカレーなどの商品の復活が見込まれます。しかし、5類下げられるといえど警戒せなければいけないので、消毒液の設

置や間隔をあけて並ばなければいけない。1台だけでは、密になるため、2台にして広いスペースに設置するべきと考えています。

2. 平和活動

2月の修学旅行では、生徒会長は平和の祈りをし、自分は献花の奉納をしました。今もどこかで戦争によって苦しんでいる人がいることをいつも忘れないようにします。少しでも早く戦争が終わって平和になりますように。

3. 募金活動

2月6日にトルコにて大地震が発生し、日本の東日本大震災の時に助けてくれた恩返しも兼ねて募金しようと思いました。生徒や先生方が募金に協力してくださいました。50011円集まりました。少しでもこのお金でトルコの人々が楽になればいいなと思います。募金をしてくれた生徒や先生方にも感謝しています。

4. まとめ

南山男子部の生徒が「より快適でより充実した学校生活」を送れるように日比研鑽を積んできたつもりです。しかし、結果としてはいい結果を出せませんでした。すいませんでした。

書記活動報告

後期生徒自治会書記 中三B 竹内 悠

皆さんこんにちは、中学生徒会書記の竹内悠です。半年と短い期間でしたが、書記として活動をさせてもらいました。そこで何をしたのか、活動の様子を寄稿させていただきます。

まず、砂取りマットの取り換えです。なぜこれを掲げたのかというと、靴箱周辺にグラウンドの砂が散乱していたからです。解消をすることが出来たら、先生方の負担も減り玄関も清潔に保てます。このことについて生徒指導部の先生と話し合った結果、取り換えは出来ませんでした。砂取りマットの下に水をため靴に付いた砂を落とすことで玄関の砂を減らすことが出来ました。

次に、トルコ南部地震の募金です。この地震で何かできることがないのか、生徒会で話し合いをし、募金

をすることを決めました。たくさんの方の南山生が募金に協力してくれて、三日間で五万十一円集まりました。被災地の復興に繋がってほしいと思います。

最後にこの生徒会活動ですべての公約を実現することは出来ませんでした。が、執行部を中心に議員と意見を出し合い、南山をより快適で充実した学校生活に近づけられたと思います。

支えてくださった皆様、有難うございました。

書記兼会計活動報告

生徒自治会書記兼会計 中三B 江場 哲平

中学後期生徒会書記兼会計の江場哲平です。私の事は主に生徒会関係の書類の作成、特に学校に提出する要望書の作成です。要望書の作成はとてもやりがいのある仕事で、会長を筆頭とした議員のみなさんの意見をいかに分かりやすく、見やすく、正確にまとめられるかがこの仕事の重要なポイントです。パソコンを扱える人間が私しかいなかったたので時間に追われることが多かったように感じます。書類というのは簡単に完成するものではなく、書いていくうちに「この文章はこうしたほうが伝わりやすい」「この行間はもっと狭いほうがきれいだ」など、文章の内容だけでなく、書面の見やすさまで改善点が見つかっていきます。そのため、完成するのは書き始めてから最低でも3日はかかります。文字をパソコン上で打つだけという単純作

業だったらもっと早く終わるのでしょうが、学校に提出する生徒のみなさんの意見をまとめた大切な文書なので、こだわって作るようにしています。この仕事をやっているとときには「パソコンを使えてよかった」と思います。去年と今年の文化祭ではクラス動画の編集を担当しました。私は、趣味で動画編集やプログラミングをやっていて、パソコン関連の仕事を任せられることが多いです。そんな自分の強みが学校内でも活かせるというのはとても嬉しいことです。南山男子部は生徒のみなさん一人ひとりが持つ強みが存分に発揮できる最高の学校です！みなさんも学校のいろいろな活動を通して、自分の強みをどんどん成長させてほしいと思います。

後期生徒自治会
文化委員会委員長 中三D 人見 健太郎

前期に引き続き、後期でも委員長を務めさせていただきましたが、後期でも積極的に活動を行いました。

まずは、図書に関するアンケートです。中学生徒約600名の図書への関心や図書館の利用頻度などの質問を行いました。結果は漫画や雑誌を好んで読む生徒が大半で、そもそも本を読まないという生徒もいました。図書館を頻繁に利用する生徒もごく少数だったのですが、もっと図書館を有効活用してほしいと思いました。僕自身も本はあまり読まないのですが、少し興味を持つきっかけになりました。

また、大学生講演会では中学・高校のうちにやっておくべきことや、勉強のコツ、大学に関することなど、たくさんのことを教えていただきました。間違いなく人生に活かせる、とても素晴らしいお話をしていたので、とても良かったです。参加して

下さった生徒のみなさんも積極的に質問しており、とても有意義な時間を過ごせたのではないでしょう。大学生講師の方々、実現に協力して下さいませ。参加して下さった生徒のみなさんのおかげで実現させることができました。本当にありがとうございます。

後期生徒自治会
 体育委員会委員長 中三A 平本 光

後期生徒会活動に体育委員長として参加していた平本です。

生徒会では、公約を実現するために会長の大川くんや、副会長の平野くんなどが放課の時間なども使って一生懸命話し合っていたことが印象的でした。またトルコ地震募金では朝早くから学校に行って募金活動をしている議員さんは本当にすごいと思いました。しかしそんな生徒会も改善してほしい点がありました。

一つ目は、生徒会役員として議会に参加していた文化委員や体育委員、そして風紀厚生委員がただ話を聞くだけのお客さん状態になっていたことです。コロナ禍で委員会の活動があまりできなかつたこともありましたが、コロナが落ち着いたら委員会で見つけた学校の改善すべき点などを話す機会があるとより良くなると思います。

二つ目は、議会の時間です。やはり昼放課の時間だけでは実現したい公約の話し合いだけで議会が終わってしまふことも多々ありました。なので授業後から下校時刻までなど少し長く議会の時間を取って話し合いをすることが必要だと思いました。

以上が改善してほしい点です。

最後になりますが会長の大川君、副会長の平野君、そして執行部の皆さんや和田先生、短い間でしたがありがとうございます。

中学文化委員アンケート結果

Q1 学校の図書室をどれぐらいの頻度で利用しますか。

ほぼ毎日	3%	1週間に1回程度	11%
1週間に数回程度	7%	ほとんど使わない	78%

Q2 図書室で読む本のジャンルは何ですか。[複数回答可]

小説	241	参考書	28
評論	14	漫画	141
雑誌	33	その他	24

※「その他」：空想科学読本・歴史系・将棋系の回答が多かった

Q3 図書室において欲しい本を書いてください。

漫画	10	スラムダンク	2
ドラえもん	4	進撃の巨人	2
小説	4	将棋の本	2
転生したらスライムだった件	3	P丸様	2
すずめの戸締り	3	ジャンプ	2
ライトノベル	3	スラムダンク	2
聖域	3	アイドル2.0	2
転生したらスライムだった件	3	チェンソーマン	2
すずめの戸締り	3	P丸様	2
		ファンブック	2

Q4 家でどんな種類の本を読みますか。[複数回答可]

小説	228	参考書	40
評論	25	漫画	301
雑誌	62	その他	19

※「その他」：歴史系・将棋の回答が多かった。

Q5 1週間に何冊の本を読みますか。

1週間に5冊以上	16%	1週間に1～2冊程度	35%
1週間に3～4冊程度	13%	ほとんど読まない	37%

Q6 好きな本は何を書いてください。

【ジャンル】

歴史本	推理本
漫画	スポーツ系
ライトノベル	ホラー系
鉄道系	

【回答多数】

ワンピース（一番人気）	ハリーポッター
デスノート	チェンソーマン
ヒロアカ	5分後に意外な結末

【回答複数】

アオアシ	ドラゴンボール
かがみの孤城	ブラックジャック
ソードアートオンライン	約束のネバーランド
五分分の花嫁	名探偵コナン
呪術廻戦	キングダム
鬼滅の刃	進撃の巨人
弱虫ペダル	転生したらスライムだった件

南 窓 六十一号

編集 高校 重本佳穂 中学 人見健太郎
文化委員会

題字 石田泉城

発行者 南山^{高等}中学校男子部生徒自治会

発行日 二〇二三年 五月 十六日

発行所 (〒四六六一〇八三八)名古屋市中区和区五軒屋町六
TEL(〇五二)八三二一六四五

印刷 名古屋市中種区千種二一―二八
株式会社ウエルオン